



PRESS RELEASE

開館35周年・南あわじ市制20周年を記念し
「昭和の人形浄瑠璃をみる！タイムスリップ写真展」を開催！



今年の人形浄瑠璃資料館はアニバーサリーが満載！

淡路人形浄瑠璃資料館（兵庫県南あわじ市）は、令和7年8月1日に開館35周年を迎えます。また、平成17（2005）年1月11日に4町が合併し南あわじ市となり、20年を迎えます。当館ではこの春開催される花みどりフェア2025（3/20～4/27）に合わせて、4月5日（土）より淡路島の伝統芸能・淡路人形浄瑠璃の歴史を身近に感じてもらえる「タイムスリップ写真展」を開催します。

昭和の人形浄瑠璃を
Let's go Awaji Puppet Museum

みる！
タイムスリップ写真展

あら、懐かしい写真がいっぱい

撮影：宗虎亮

2025年4月5日(土)より
淡路人形浄瑠璃資料館
〒656-0473 兵庫県南あわじ市南三軒3-2-30
開館時間：10:00～17:00 入館料無料
休館日：承継日、承継日が祝日の時は開館翌平日に休館
※ こちらは人形浄瑠璃の上着を展示しています
お足元を履たい方は 淡路人形浄瑠璃 にご覧いただけます

昭和半ばに撮影された「ノスタルジックな人形浄瑠璃の写真」を大公開！

アニバーサリーを記念し、開館35周年記念＜第1弾＞として昭和100年に当たる今年の春に「昭和の人形浄瑠璃をみる！タイムスリップ写真展」を開催。宗虎亮（むねとらすけ）さんが撮影した写真を中心に、昭和半ばに撮影された白黒写真を大公開します。写真に関連して、実際使われていた小道具や肩衣、行李、浄瑠璃本を展示。淡路島でどんな風に人形浄瑠璃が根付き、楽しまれていたかよくわかる解説つきです。浄瑠璃の音声(※)を聞きながら本写真展をご覧ください。

(次項へ)



「タイムスリップ」をテーマに
特別展示室入り口を当時の芝居小屋風にアレンジ

撮影：野水正朔さん
野掛け小屋の入り口



本物は資料館内で常設展示中



絵看板（左右）と金看板（中央）のレプリカを
作成し当時の入り口を再現します

淡路の人形一座は江戸時代中期40余りもの座があり、そのほとんどが淡路島外へ遠征していました。劇場のない場所では、神社やお寺の境内など広い場所を利用し簡易的な芝居小屋（野掛け小屋）を作り上演していました。

簡単な解説付き！



会場は大賑わい
撮影：宗虎亮さん



こんな一幕も！

子供たちが楽屋に入ってきた！？



「昭和の人形浄瑠璃をみる！タイムスリップ写真展」

開催日程 2025年4月5日(土)～8月頃まで

入場料 無料

休館日 水曜日、祝日の翌平日

場所 淡路人形浄瑠璃資料館 特別展示室

〒656-0475 兵庫県南あわじ市市三條880

※現在企画中のため、一部内容に変更がある場合がございます。





淡路人形浄瑠璃 とは？

500年の伝統をもつ淡路人形芝居。始まりは神事で、西宮の傀儡師 百太夫（かいらいし ひやくだゆう）が淡路の三條村に住みついて村人に人形操りを教えたのが始まりだといわれている。18世紀中頃には、人形浄瑠璃の全盛期を迎え、淡路島内に40を超える人形一座があったが、その後他の芸能人気に押されて次第に衰退。淡路島の人形芝居も危機を迎えたが、地元民を中心に保存伝承運動により、名門吉田傳次郎座の人形・道具一式を譲り受け「淡路人形座」が発足。今現在、淡路島でプロとして活躍するのは南あわじ市福良にある「淡路人形座」一座のみとなった。

※人形浄瑠璃のお芝居を上演する「淡路人形座」と「淡路人形浄瑠璃資料館」は車で約15分ほど離れています。

淡路人形浄瑠璃資料館 とは？

淡路人形浄瑠璃資料館（南あわじ市市三條）は、淡路島の伝統芸能である淡路人形浄瑠璃についての資料を展示・保管している資料館です。当資料館は、昭和40年代半ばで活動を停止していた、淡路人形浄瑠璃の名門「市村六之丞座」の人形・道具等一式を譲り受け、平成2年に淡路人形発祥の地（江戸時代の三條村）に開館、**2025年8月で開館35周年を迎えます**。入館料無料で人形浄瑠璃について学べるため、淡路人形座とセットで訪れる方も多くいらっしゃいます。希望があれば簡単な解説も可能です。団体で来られる場合は混雑を避けるため、ご予約をお願いします。



1階は図書館、2階に淡路人形浄瑠璃資料館があります。図書館・地区公民館と共同の広い駐車場があります。（大型バス駐車可能）

※ 当資料館では人形浄瑠璃の上演はありません。お芝居をご覧になりたい方は、「淡路人形座」までお問合せください。

<お問合せ先>

淡路人形浄瑠璃資料館 TEL 0799-42-5115 (10:00~17:00)

〒656-0475 兵庫県南あわじ市市三條880

